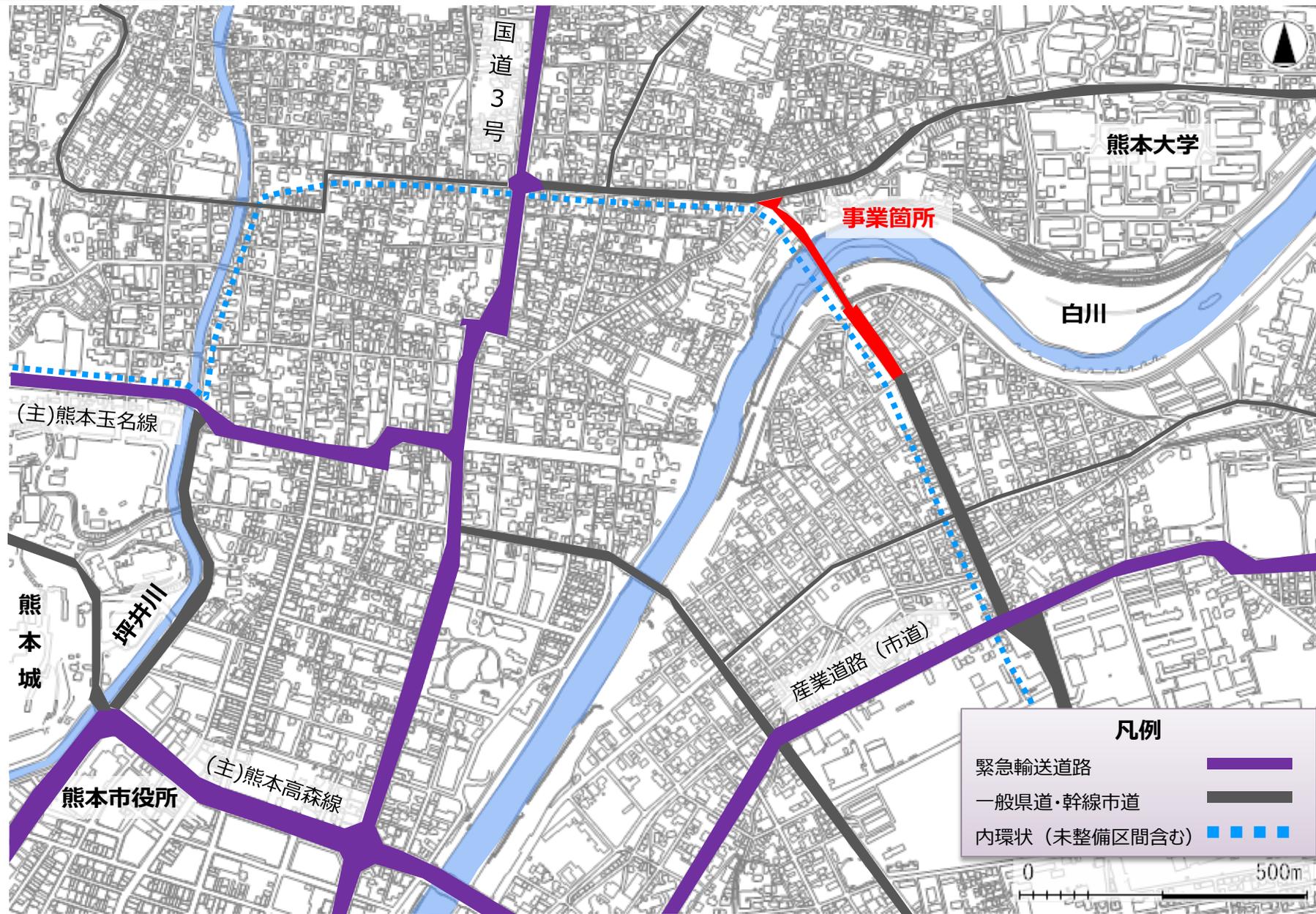


第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

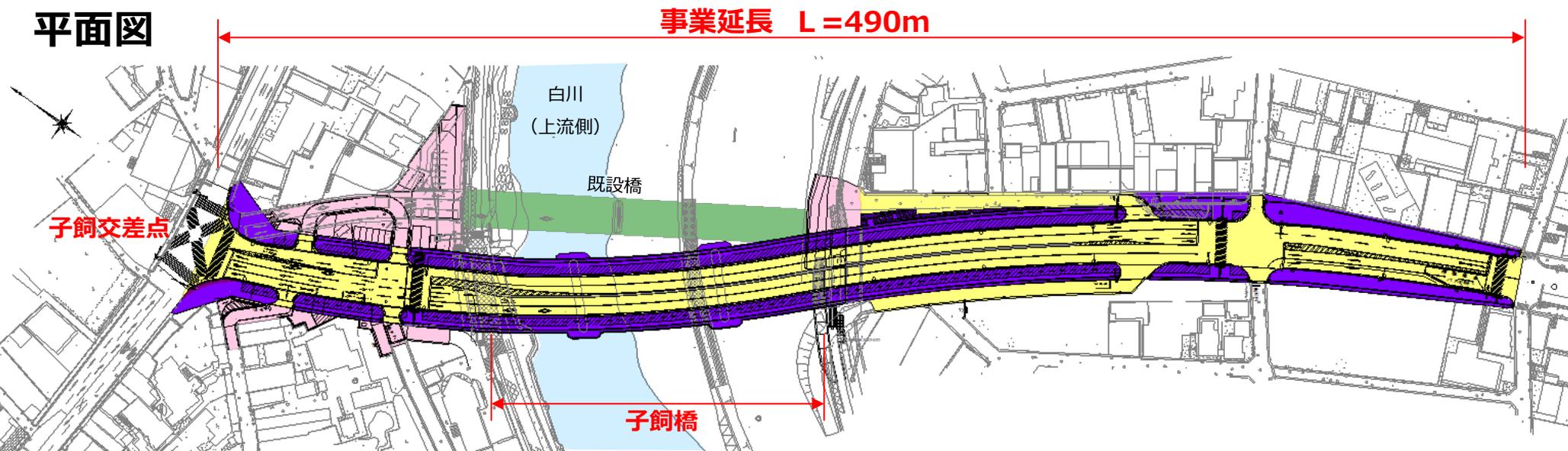
ふりがな 応募者名		くまもととしけんせつきよどぼくぶどうろせいびか 熊本市都市建設局土木部道路整備課
街路事業	ふりがな 事業の名称	くまもととしけいかくどうろじぎょう こかいしんおおえせん 熊本都市計画道路事業 3・3・10号子飼新大江線
	ふりがな 事業主体	くまもとし 熊本市
	ふりがな 実施都市名	くまもとし 熊本市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長:490m ○事業費:約68億円</p> <p>○幅員:27m ○事業期間:平成17年度～平成27年度</p>
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した橋梁の架け替えを含む2車線区間の4車線化による渋滞緩和 ・電線共同溝による無電柱化及びバリアフリーに対応した歩道と自転車道の整備による歩行者及び自転車利用者の安全確保 ・緊急輸送道路間を結ぶ環状道路としての防災性の強化
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本都市圏道路網の骨格を形成する2環状11放射の内環状の一部を構成する路線の整備により、道路ネットワークの強化に寄与した。 ・子飼交差点は熊本県内の主要渋滞箇所を選定されており、2車線区間の4車線化によるボトルネック解消を行うことで渋滞緩和に寄与した。 ・歩道や自転車道の整備によって歩行者・自転車の安全な通行空間を確保し、交通事故の防止に寄与した。 ・電線共同溝による無電柱化や老朽橋架け替えにより、災害時の安全性向上、緊急輸送道路間を結ぶ環状道路としての防災性強化に寄与した。
	定量的効果 (検証済の場合記入)	※平成28年度に検証予定であったものの、熊本地震の影響により見送り
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・下流側の上部工架設に伴い平成25年9月に片側1車線による暫定供用開始。片側のみ歩道、自転車道を開通させ、事業効果を早期に発揮した。 ・近隣にマンションがあり、多くの通行が見込まれる取付け道路と本線の交差部分について、安全対策としてカラー舗装による注意喚起を実施した。

事業位置図

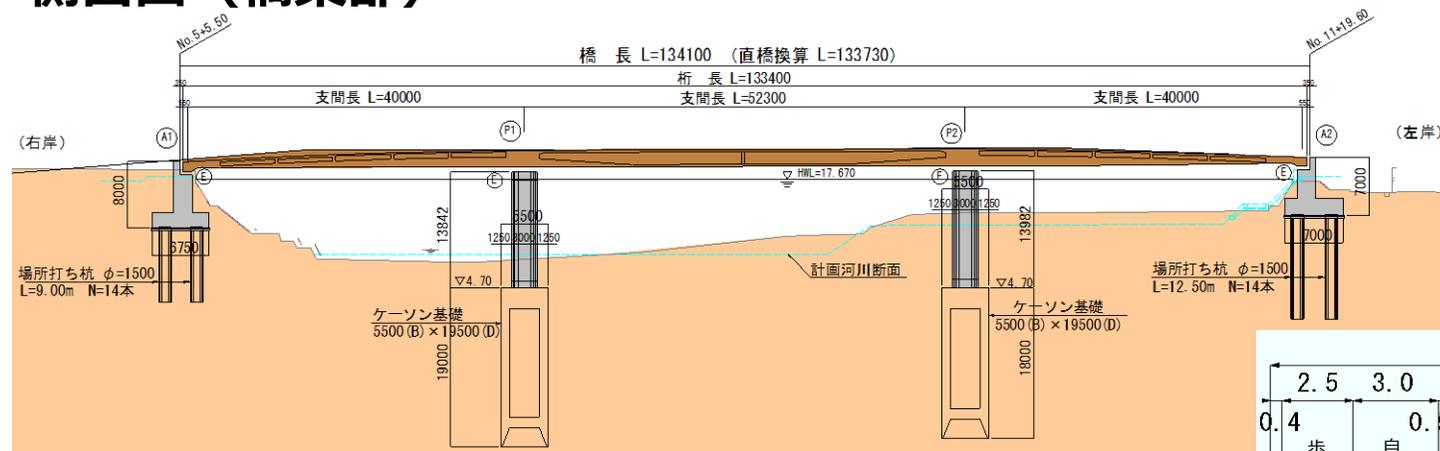


全体図(平面図・横断図・側面図)

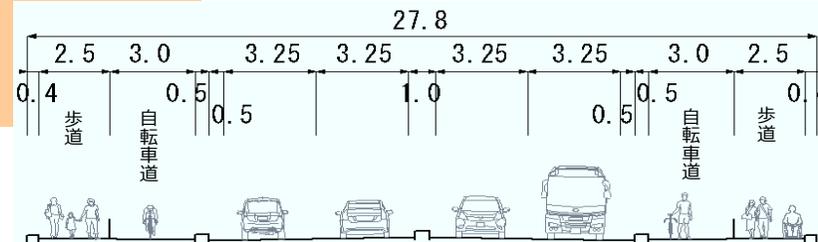
平面図



側面図 (橋梁部)



横断図 (橋梁部)



事業前写真

平成20年7月撮影



平成20年7月撮影



平成20年7月撮影



平成28年4月撮影



平成28年4月撮影

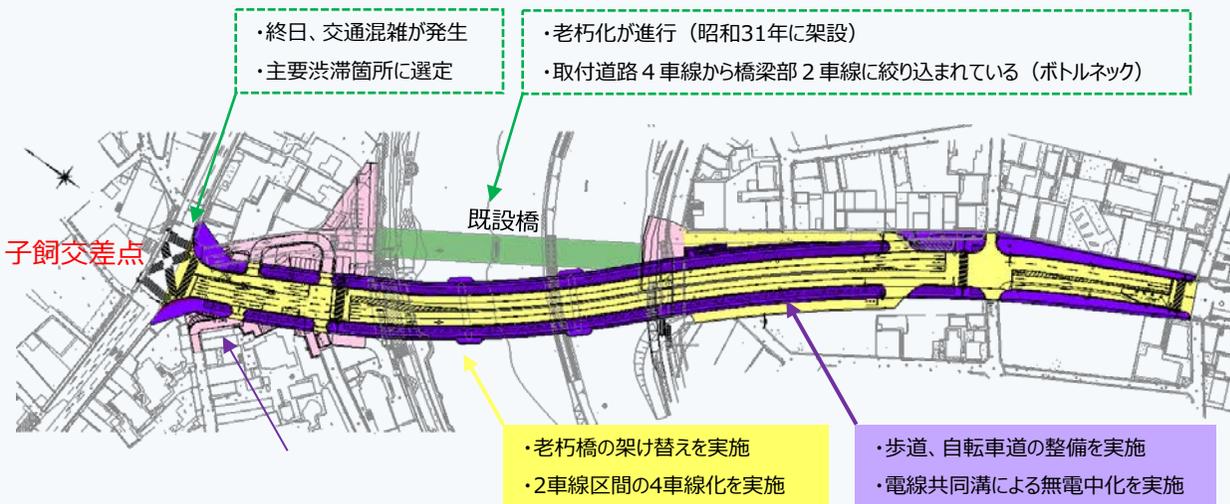


平成28年11月撮影



子飼新大江線の整備効果アピール資料

2環状11放射道路網イメージ図



「整備効果」

- 熊本都市圏道路網の骨格を形成する2環状11放射の内環状の一部を構成する路線の整備により、熊本都市圏の道路ネットワーク強化に寄与した。
- 子飼交差点は熊本県内の主要渋滞箇所を選定されており、2車線区間の4車線化によるボトルネック解消を行うことで渋滞緩和に寄与した。
- 歩道や自転車道の整備によって歩行者・自転車の安全な通行空間を確保し、交通事故の防止に寄与した。
- 電線共同溝による無電柱化や老朽橋架け替えにより、災害時の安全性向上、緊急輸送道路間を結ぶ環状道路としての防災性強化に寄与した。

「その他の事業効果」

- 当該区間は熊本市内を走る環状線のバス路線網を構成しており、渋滞緩和によるバスの定時性向上に寄与した。
- バスの利便性向上により、中心市街地へのアクセス向上、中心市街地の活性化に寄与した。
- 渋滞緩和による自動車の走行速度の向上により、NOx, SPMの排出量低減といった沿道環境の改善に寄与した。
- 下流側の上部工架設に伴い、平成25年9月に片側1車線による暫定供用開始。片側のみ歩道、自転車道を開通させ、事業効果を早期に発揮した。

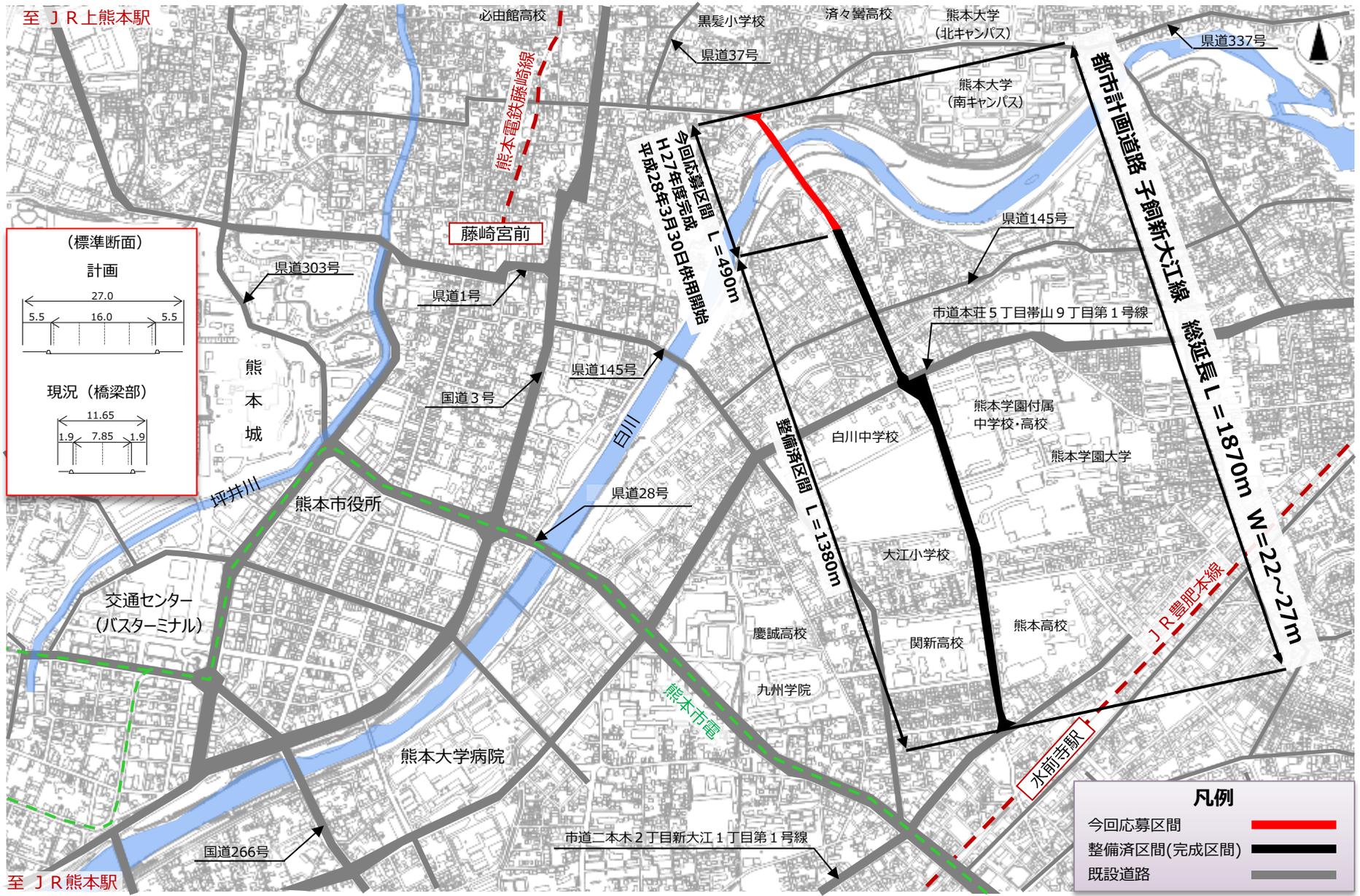
事業効果一覧表

大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。 	◎
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。 	◎
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。 	○
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止に寄与した。 	◎
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。 	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。 	◎
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。 	○
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化に寄与した。 	○
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。 	△
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境の改善や充実性に寄与した。 	○
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。 	△
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。 	△
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> ・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。 	△
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。 	○

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

路線全体の進捗状況



都市計画図

